

四万十公社第5期（平成28年度）

事業報告

【公益目的事業：ケーブル事業（指定管理）】

■加入状況

区 分		平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	前年度比 (27-28)
基本 サービス		7, 257	7, 351	7, 410	59
	うち休止	142	194	236	42
ネット	128K	701	670	629	▲41
	30M	1, 848	2, 081	2, 206	125
	100M	202	225	255	30
STB		1, 353	1, 308	1, 277	▲31
	レンタル	743	235	172	▲63
	以外終了	292	772	810	38
	買取	318	301	295	6
有料放送	ファミCH	1, 336	1, 293	1, 262	▲31
	ペイCH	78	73	75	2
IP電話		160	158	154	▲10

■工事件数（平成28年度4月～3月末）

- ・ONU工事： 242件（新規126件、移転46件、撤去60件、交換10件）
- ・障害工事： 34件（断線13件、小動物等3件、支線・電柱等18件）
- ・電力柱移転工事： 111件 電柱建替え・移設
- ・NTT柱移転工事： 76件 電柱建替え・移設
- ・受注による移転工事： 26件 道路拡幅に伴う支障移転工事等
- ・部品交換工事等： 78件（ONU故障部品交換）

【平成28年度課題】

課題①：奥四万十博に連携した放送

課題②：伝送路保守

課題③：電気通信事業法改正への対応

課題④：有料番組加入増への取り組み

課題⑤：インターネット利用者対応

1. 登録有線一般放送の放送番組の提供に関する業務

1) 自主放送に関する業務

自主制作番組として、四万十放送室（地域のニュース）、四万十うおっちゃんぐ（情報・企画番組）、運動会や祭り等、地域の行事を収録した特別番組を放送した。

また、高知県内他所の情報等を提供するものとして、以下の他局番組を放送した。

- ・ Kochi on TV（情報番組、高知ケーブルテレビ）
- ・ えほんで遊ぼういちにのどっか〜ん（教育番組、高知ケーブルテレビ）
- ・ それいけ爆釣中！（釣り番組、よさこいケーブルネット）
- ・ すわんふいっしんぐ（釣り番組、西南地域ネットワーク）
- ・ 高知 釣りDoki！（釣り番組、香南ケーブルテレビ）
- ・ ショップチャンネル（通販番組、ジュピターショップチャンネル）

2) 有料放送に関する業務

有料放送番組として、四万十ケーブルテレビ加入契約約款（以下、約款という）別表第2に記載された番組を提供した。有料放送サービスの利用希望者に対しては、約款にもとづいた手続きを行い、セットトップボックスの貸与を行った。

課題④：有料番組加入増への取り組み

微減の続く有料番組に向けて、加入者増への取り組みとして、ベーシックチャンネルの空きチャンネルに自主放送番組の枠を設け、放送をスタートする予定であった。しかし、ペイチャンネル、フジテレビNEXTのSD画質の配信が2017年3月末での終了を受け、他の番組供給会社についても今後SD画質の配信終了が予測される為、当初の取り組みを変更した。

平成30年度にはCS自主放送設備のリプレイスが予定されている為、有料番組加入者を対象にHD化も視野にいれたアンケート調査の準備をした。

2. 町及び公的機関の情報の提供に関する業務

1) 行政放送

町の広報誌や町の取り組みと連動した番組制作について技術的支援を行った。台本作成は町役場各課が行い、撮影、編集等を公社が担当した。

また、番組進行は地元住民によるボランティアキャスターが担当した。

- ・ 主な行政番組：各課紹介・各課のお知らせ・保育所紹介の制作
- ・ 番組制作数：36本
- ・ 再放送：16本

2) 議会中継及び再放送

撮影、音声、字幕表示のオペレート業務を行ったほか、録画、再放送に係る業務を行った。

- ・ 町議会定例会および臨時会の放送：7回（22日間）生放送し、同日夜および同週末に再放送
- ・ 高知県議会定例会：4回（25日間）生放送および録画放送

3) 文字放送

文字放送を利用する各団体が発信する情報を的確に放送されるよう技術的支援を行った。

- ・ 公共的団体の入力：毎日概ね10本程度

4) データ放送

今期は、文字放送設備・L字放送設備と共にデータ放送設備のリプレースをおこなった。文字放送の時間以外でも情報の確認が可能になり、緊急放送のL字放送の情報も視聴することが可能となった。また、スマートフォンでもデータ放送の内容が確認できるアプリも作成した。（平成29年4月1日から新設備で放送を開始）

3. 緊急情報の提供に関する業務

災害対策に係る町の対策体制配備と連動し、役場放送室の機器システム訓練等を行った。

- ・ 四万十町役場放送室 機器使用訓練：3回

4. 町民が自主的に取り組む映像制作の支援及び表現機会の提供に関する業務

町民が地域コンテンツを制作し、ケーブルテレビを利用して放送できる環境を提供するとともに、表現方法等の技術支援を行った。

- ・ 投稿数：112件

1) 番組特派員

町民に携帯端末等で撮影した家族の出来事、お知らせ、身近な風景などの動画を投稿してもらい、「モバイル&ムービー」番組枠で紹介した。また、投稿者向けの講習会の実施を行った。

- ・投稿者数：26人
- ・講習会参加者：6人

2) 住民ディレクター

自ら企画・撮影・編集し、パッケージ化したものを投稿する、技術的に向上した「番組特派員」。

- ・投稿者数：2人

5. 番組制作に係る取材、編集及び収録並びに番組映像の保管と公開に関する業務

1) 自主放送番組制作に係る業務

コミュニティ放送としての特徴を活かし、「四万十町らしさ」を感じることでできる多様な番組を編成し、多くの人から愛され頼りにされる放送を目指した。また28年度は、奥四万十博オープニングイベントの生放送を始めとして、奥四万十博と連携した放送も行った。

(1) 四万十放送室

- ・87本放送（トピック数349本）／・週2回更新（15分番組）

(2) 四万十うおっちんぐ

- ・56本放送／・週1回更新（15分番組）

(3) モバイル&ムービー

- ・34本放送／・週1回更新（15分番組）

(4) 無人航空機（ドローン）の運用

国土交通省（航空局）への飛行に関する許可・承認申請を行い、航空局基準マニュアルに沿った練習・飛行運用を実施した。

また、県内のケーブル局とも映像や運用方法についての情報交換を行った。

(5) 特別番組等（長尺・生放送・他局番組含む）

- ・生中継 年間7本（奥四万十博関連3本・台地まつり・初日の出・桜マラソン）
- ・特別番組 年間12本以上（音楽祭、運動会、祭り等の行事）

課題①：奥四万十博に連携した放送

オープニングイベント（4/10、須崎市）の生放送を始めとした、奥四万十博と連携した放送を行った。ニュースや企画番組等で取り上げた内容を町内のみならず、県内のCATVや民放局など町外へも発信した。

- ・ 04/10 奥四万十博オープニングイベント生中継（よさこいケーブルネット合同）
- ・ 07/05 奥四万十博特集 高知ケーブルテレビ番組出演（協力）
- ・ 08/06 須崎市花火大会生中継（協力）
- ・ 08/21 四万十大正あゆまつり生中継（協力）
- ・ 09/10 ご当地キャラ祭り生中継（よさこいケーブルネット合同）
- ・ 10/02 須崎市ドラゴンカヌー大会特別番組放送（協力）
- ・ 12/23 奥四万十博クロージングイベント生中継（よさこいケーブルネット合同）

2）番組映像の保管と公開に関する業務

放送終了後に、放送年月日、放送内容等をテキスト化し、映像とともにアーカイブ化。一部映像は、ネット配信（見逃し番組、運動会の長時間版等を通信契約者限定配信）を実施。過去に放送されたものについても、遡及的にアーカイブ化を実施した。

映像アーカイブの対象番組は、以下のとおり

- ・ 四万十放送室
- ・ 四万十うおっちんぐ
- ・ 特別番組等
- ・ モバイル&ムービー
- ・ その他汎用性の高い素材データ

6. テレビ及びラジオ放送の再送信に関する業務

- ・ 地上デジタルテレビジョンの再送信
- ・ 衛星テレビジョン放送の再送信
- ・ ラジオ放送の再送信
- ・ 有料番組放送の再送信

放送の再送信に関する業務は放送法第11条にもとづき下記の内容の業務を行った。

- ・ 各事業者再送信同意に係る業務
- ・ 日本ケーブルテレビ連盟への報告業務
- ・ 各著作権団体への報告業務
- ・ 番組配信会社への報告業務

7. ケーブルインターネットサービス等の通信に関する業務

1) インターネット接続サービスの提供

低速コース128K、高速コースとして30M、100M、3つのコースでインターネット接続サービスを提供した。加入者には、無料メールアドレス（全コース）、無料サポート（高速コース加入者のみ）を提供した。インターネット回線を利用する有料サービスとして、以下を提供。

- ・メールアドレスの追加
- ・メール転送サービス
- ・ホームページスペースの利用
- ・固定IPサービス
- ・IP電話の利用
- ・メールアドレスの変更

2) Wi-Fi 環境の整備

フリースポットの拡張を平成25年度より開始し、平成28年度末時点でケーブルテレビが設置したフリースポットは26箇所。顧客サービスとしてフリースポットを設置する可能性のある店舗等については、一定の設置数に達した。公的な場所のフリースポットについては、町が設置継続中である。

課題⑤：インターネット利用者対応

今期は、企業を中心にルーターの販売や設定サポートを実施した。29年度は、一般ユーザー向けにもルーターの販売や設定サポートのサービスを開始する。

8. 広告放送に関する業務

町内企業の広告放送を行った。1件 約4か月間放送

9. 情報施設の利用の承認、休止、停止等に関する業務

放送通信サービスの加入申し込み、利用休止及び再開、利用停止及び脱退について、約款にもとづいた手続きを行った。

10. 情報施設の加入に係る加入金及び利用に係る使用料等の徴収に関する業務

1) 加入金・利用料徴収及び未納者対応

約款にもとづいて加入金徴収の手続きを行い、料金未納者に対しては、以下のとおり対応した。

- ・ 2カ月分の料金未納者に対して、当月まで3カ月分の料金振替案内を通知する。
- ・ 3ヶ月分の料金振替ができなかった利用者に対し、3カ月分の料金の現金による納入期限を電話で案内し、期限までに納入されなかった場合は停波する旨を伝える。
- ・ 3カ月分の料金未納が確定した加入者に対し、放送通信を停波する。

2) 契約内容の確認通知

加入者に契約内容の確認通知を行った（平成29年1月17日 全7,005通発送）。

課題③：電気通信事業法改正への対応

法改正に伴い、サービス提供開始直後での書面（契約内容の詳細）交付義務、初期契約解除制度等の導入が求められることとなったため、契約内容等の変更申請があった加入者を対象に書面交付を開始した（法施行：平成28年5月21日 変更申請送付月平均70通）。

1.1. 情報施設の維持及び管理に関する業務

1) 放送通信設備の維持及び管理

窪川のセンター及び大正・十和のサブセンター設備は、監視端末による日常点検や適切な維持管理の為に測定機器を用いての点検を実施した。加えて、放送・通信設備ベンダーとの保守契約を締結し、電話・メール・現地サポートや定期点検を実施した

- ・ 空調機
- ・ 放送編集室
- ・ スタジオ室
- ・ 映像コンテンツ管理室
- ・ ヘッドエンド室
- ・ 消防防犯設備

2) 伝送路設備の維持及び管理

伝送路設備の維持管理については、伝送路監視システムによる常時監視を行った。障害等発生時には、担当職員へメールが自動通知され、担当職員による状況確認の後、工事業者への作業依頼等、復旧までの作業を行った。障害等につながる可能性がある支障木を発見した際には、伐採するなどの予防措置をとった。柱の移転等により工事が発生し経路が変わる場合や、新たに伝送路が設置された場合は、伝送路監視地図の修正を行った。

課題②：伝送路保守

今期は、障害発生防止を目的とした伝送路調査を行った。主に主要幹線（携帯基地局・消防無線・イントラ等）を重点的に調査し、危険箇所については都度修繕工事を行った。

- 主な修繕
- ・ 箇所：河川横断をしている幹線ケーブル
 - ・ 内容：クロージャラーのスラック作成・スパイラルハンガ補修・伐採工事
 - ・ 地区：米奥・大正北ノ川・茅吹手・小野・大向

3) 障害発生時の対応

放送及び通信に障害が発生した際には、速やかに必要な措置を講じ、町を含む関係者に障害の発生を通報した。

4) 取替修繕管理台帳の更新

今期は、文字放送設備・L字放送設備・データ放送設備・伝送路監視システム・同録装置の機器更新を実施したが、年度末まで構築作業がかかった為、リプレイス機器の台帳更新ができなかった。

5) 通信設備の更新に係る業務

平成27年度に構築した通信系設備事業者（保守業者）と、次期更新に向けての改善ポイントをまとめた。

機器等リプレイス計画案（平成28年度～平成50年）については引き続き町と協議した。

1 2. 事業の広報、宣伝及び利用促進に関する業務

ケーブルテレビの放送・通信サービスを宣伝、提案するとともに、利用者への支援サービスを行った。

1) 広報宣伝活動

自主放送番組を通じての広報宣伝を行うとともに、番組表でも告知、注意事項等を掲載した。

2) 放送・通信サービスの利用促進

契約内容の確認通知に合わせて、利用者を対象としたアンケート調査を行い、サービスの向上に役立てた。今期は、屋外告知端末の認知度についての項目も設定した。

1 3. 放送番組審議機関に関する業務

放送番組審議会の開催に際して、放送実績等の資料を作成した。

- ・ 四万十町ケーブルネットワーク放送番組審議会開催（平成 28 年 9 月 30 日）
- ・ 四万十町ケーブルネットワーク放送番組審議会開催（平成 29 年 3 月 22 日）

【公益目的事業：地域情報センター】

課題：地域情報センター行動計画の評価と次期計画の検討

行動計画の最終年度にあたり、実績の評価とケーブルテレビの映像コンテンツを中心とした「地域アーカイブ」の蓄積を主軸とした次期計画の検討を行う。

1. 地域情報データベースの運用

収集されたあらゆる情報の入れ物としてのデータベースとして、また、情報を検索し利活用できるウェブサイトとして、情報検索システムの運用を行う。

2. 地域情報の収集、編纂、提供

収集し、データベースに登録された情報を材料に、新たな情報として編纂し、まとまりをもった情報や時事性のある情報を自主制作番組等で提供する。また、不明な情報について町民へ情報提供を投げかけるなど、町民参加への足がかりをつくる。

1) 自主放送の映像アーカイブ

ケーブルテレビ事業で行う映像アーカイブを対象に、番組内容等の文字情報を付加し、地域情報として充実させる。

2) 各放送局の情報番組等の調査

地域ニュース及び情報番組を中心に全録画し内容を確認、目録化を行う。
対象チャンネルは、NHK総合、高知放送、テレビ高知、さんさんテレビ、愛媛朝日

3) 自主放送番組のネット配信

ケーブルテレビ事業と連携し、放送終了後一定期間自主放送番組が視聴可能な「みのがしうおっちゃんぐ」を運用する。合わせて「スタッフ・ブログ」の運用も行う。

4) 町内各所の景観

町内の風景を中心に静止画および動画を蓄積し、収集した情報は、インターネット上に公開する。

- ・町内各所の景観撮影及びインターネット投稿：8ヶ所撮影内2ヶ所投稿

5) オーラルヒストリー収集

歴史、技術、暮らし、文化などについてインタビューを記録したほか、祭り等の現場での聞き取り調査などを実施した。

- ・オーラルヒストリー収集件数：1件

6) 祭りの記録

ケーブルテレビ事業と連携し、町内各所の秋祭りの様子を記録した。

- ・秋祭りの記録件数：13ヶ所

施餓鬼供養の調査・撮影を行い、特別番組を制作し放送した。

- ・十和地域の3地区

【収益事業：会館・公園事業（指定管理）】

【28年度課題】

課題①：自主事業の実施

課題②：設備改修工事の提案

- ◆年間の会館利用者数：18,756人（目標値：18,000人）
- ◆ホール利用回数：年間78回（目標値：年間60回）
- ◆多目的室利用回数：年間255回（目標値：年間300回）
- ◆自主事業実施回数：年間4回（目標値：5回）

1. 窪川四万十会館・四万十緑林公園の運営状況

本年度も指定管理に関する基本協定書に基づいて、窪川四万十会館（ホール、控室、多目的室）の利用拡大と事業内容の充実に努めた。

窪川四万十会館及び四万十緑林公園の管理においては、サービス向上の為、設備の経年劣化の進んだ箇所、また設備保守業者から指摘を受けた箇所など設備改修に向けて町と協議を行った。

また、運営の取り組みとして、自主事業を4回実施した。内容としては、町との共催事業でNHKラジオ『ラジオ深夜便のつどい』の公開録音及び宝くじ文化公演『夏川りみと京フィルコンサート』を、その他にはバンド演奏と手づくり市を併催した『CherCher2017』やドキュメンタリー映画『健さん』の上映会を行った。

四万十緑林公園については、巡視等により遊具の不具合等の早期発見に努め、来園者が安心して過ごせる環境づくりを行った。

○別紙1：窪川四万十会館利用状況一覧表

課題① 自主事業の実施

自主事業の取組みを行った。

○ ホール自主企画事業

開催日	イベント名	入場者	チケット料金
01月08日	CherCher2017	150人	無料
02月04日	ラジオ深夜便のつどい	332人	無料（ハガキによる抽選）
02月26日	夏川りみと京フィルコンサート	494人	一般2,000円
03月04日	ドキュメンタリー映画『健さん』	88人	一般・シニア1,100円 中高大生800円

○ ケーブル番組制作との共同取り組みについて

開催日	イベント名	主催者	ケーブル放送枠
11月09日	窪川ブロック小中連合音楽祭	音楽教育研究会	企画番組枠
11月13日	窪川中学校吹奏楽部定期演奏会	窪中吹奏学部	企画番組枠
11月26日 ～11月27日	オペラ四万十	オペラ四万十を守る会	企画番組枠
01月08日	Chercher2017	(公財)四万十公社	企画番組枠

○ ボランティアグループ『ひびき会』への依頼イベント

開催日	イベント名	主催者
05月08日	歌謡ショー	きずな
06月26日	歌謡ショー	咲
07月18日	上方落語会	翔の会
07月31日	歌謡ショー	ゆたか会
09月18日	歌謡ショー	丸山カラオケクラブ
12月11日	歌謡ショー	樫本カラオケクラブ
09月20日	歌謡ショー	丸山カラオケクラブ
01月08日	CherCher2017	(公財)四万十公社
01月29日	歌謡ショー	ゆたか会

課題② 設備改修工事の提案

2. 施設及び付属設備の維持管理に関する事項

本年度、重点項目にも掲げていたが、窪川四万十会館及び四万十緑林公園の経年劣化による設備機器の修繕を行い、その都度町と協議し維持管理に努めた。

【実績】

工事：空調設備改修工事・非常用放送設備改修工事・防災監視盤改修工事・
会館底防錆塗装工事

修繕：会館発電機基板修繕・多目的室ベランダ手摺修繕・多目的室壁紙張替・
ホワイエ照明 LED 交換・ホール椅子修繕・ホール排煙窓修繕

《設備改修工事計画案策定》

窪川四万十会館及び四万十緑林公園ともに開館・開園からすでに20年以上経過している。設備保守業者から指摘を受けた部分や、経年劣化が進んだ箇所などについて、指定管理リスク分担表を基にした総合的な設備改修を目指す。平成29年度は、昨年度作成した長期改修計画（5ヶ年）を基に、耐用年数が過ぎた設備の更新を段階的に行う。

【収益事業②：公共セクター】

課題：収益事業の推進

公益財団法人として安定した経営を行うため、収益事業を企画し推進した。

- ・映像・DVD制作業務（四万十町合併10周年記念 星空をテーマとしたもの）
- ・地域温暖化対策啓発映像制作業務
- ・議員向け iPad 講習会業務
- ・予土線HP維持管理業務